生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	チン小帯脆弱症例に対する眼内レンズ毛様溝固定手術の有効性評価		
1. 研究の目的と方法	水晶体を支えているチン小帯が弱い方の白内障手術は、通常の手術の際に眼内レンズを水晶体のカプセルの中に挿入できないほど弱い場合には、眼内レンズを縫着もしくは強膜内固定する拡大手術を行う必要がありますが、眼内レンズの偏心や傾斜をきたしやすく、合併症のリスクも上昇するため、可能であれば水晶体嚢内固定もしくは毛様溝固定を行いますが、水晶体嚢内固定は将来の眼内レンズ脱臼へとつながり拡大手術の追加が必要になる可能性が高く、脱臼のリスクの少ない毛様溝固定が望ましいと考えられます。本研究では、チン小帯が弱い方の毛様溝へ眼内レンズを固定できた術後の方の有効性を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	チン小帯脆弱を合併した白内障の患者さんで、2019 年 10 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に附属病院にてチン小帯脆弱に対する眼内レンズ毛様溝固定手術を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、身体所見、術後屈折値、眼内レンズ位置画像情報、合併症	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　眼科学講座
		氏名	増田洋一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　眼科学講座　増田洋一郎 (1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2020 年 5 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　眼科学講座 研究責任者：講師　増田　洋一郎（ますだ　よういちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3581） 対応時間：平日 09：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。